



# 栄養サポートチーム通信

第13号

褥瘡対策・栄養サポート委員会では、今後褥瘡または栄養にまつわる勉強会を行っていく予定です。9月は、救命救急センター山口医師(NSTディレクター)より、「学生の食育について」の講義でした。

## 学生の「食育」について 食で子供たちを救うために

### 学生の実態

摂食障害（拒食症・過食症）  
肥満  
容易な骨折→骨密度低下  
朝礼での立ちくらみ 疲労を訴える子供たち  
キレル子供たち

朝食を食べないことが多い 37.1%  
夕食は外食が多い 26.3%  
(本学の学生実態調査からの抜粋 本学学生72450名中9181名からの回答より)

### 肥満症

- 日本における高度肥満(BMI30以上)は2%程度であるが、増加傾向。
- 低年齢化。
- 肥満者個人に対する減量指導をしても再発多い。  
→個人に対する指導とともに、家庭、学校や職場など地域社会での知識の普及とこれに基づく生活環境の整備が必要。
- 乳幼児・小学3年生前後に多く、早期介入が必要である。

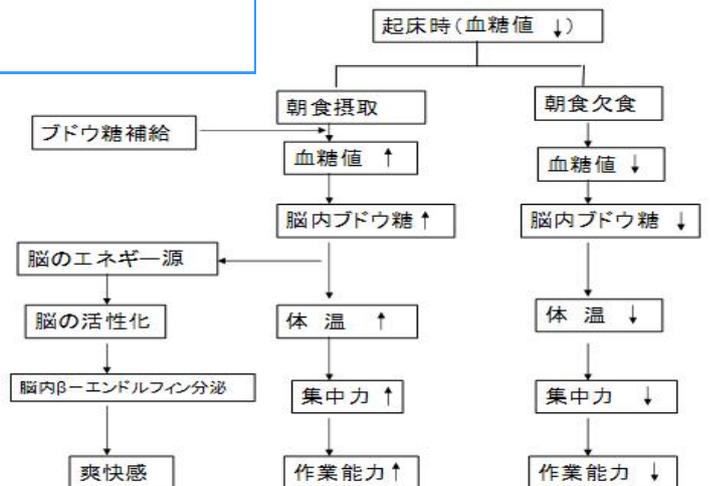
### 結核 本学でも...

- 結核で20代男性死亡 濃厚接触者9人も集団感染 大阪  
朝日新聞 2009年6月25日
- 若年層に結核の脅威 国民罹患率、先進国でも最悪  
神戸新聞 2009年6月25日

- 20歳前後は免疫学的にも結核に罹患しやすい時期とされている。
- 不規則な生活、低栄養な学生
- 高齢化社会による結核発症の増加 1996年から結核は戦後初めて増加へ転じた。
- 早期発見と食を含めたライフサイクルの指導が大切



太るもやせるも食事が基本  
まずは朝食をしっかり食べましょう



### 10月勉強会の予定

今回は、創傷管理の一つである陰圧閉鎖療法に関する話題です。新しく採用になったV.A.C.ATS®治療システムは、適応疾患に対して、管理された陰圧を付加し、創の保護、肉芽形成の促進、浸出液と感染性老廃物の除去をはかり、創傷治癒を促進するものです。日程は、後日お知らせいたします。